

秋 田 自 動 車 道  
湯田 I C ～横手 I C 間標識設計

特 記 仕 様 書

令和 7 年 1 2 月

東日本高速道路株式会社  
東北支社 横手工事事務所

## 第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	2
1-6	受注者相互の協力	2
1-7	部分引渡し	3
1-8	発注者または監督員が行う協議	3
1-9	計画工程表	3
1-10	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1-11	工事記録情報の作成及び提出について	4
1-12	成果品に関する一般事項	4
1-13	三者協議会について	5
1-14	ウィークリースタンスの取組み	5

## 第2章 業務細部に関する事項

2-1	業務の内容	6
2-2	標識設計	6
2-3	附帯工設計	6
2-4	打合せ	7
2-5	交通費・宿泊費	7

## 第3章 補足事項

3-1	設計図書の変更及び追加が予想される内容	8
-----	---------------------	---

## 第1章 総 則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 秋田自動車道 湯田 I C～横手 I C間標識設計

1-1-2 道 路 名 秋田自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 岩手県和賀郡西和賀町大渡 (STA. 7+76)  
至) 秋田県横手市柳田 (STA. 22+65)

### 1-1-4 主な履行内容

名 称	設計種別	数 量	単 位	備 考
標識基本設計	現地踏査	1	式	
	本線関係 平面図作成	20.71	k m	
	本線関係 数量表作成	20.71	k m	
附帯工設計	詳細図作成 A	44	枚	
	詳細図作成 B	7	枚	
標識基本設計	設計打合せ	1	式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から360日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

#### 1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び3-2-2「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中の調査等業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備 考
報告書	秋田自動車道 湯田～山内PA間付加車線道路詳細設計	契約締結の日の翌日より7日以内	電子成果品
報告書	秋田自動車道 湯田西地区付加車線道路詳細設計	契約締結の日の翌日より7日以内	電子成果品
報告書	秋田自動車道 山内地区付加車線道路詳細設計	契約締結の日の翌日より7日以内	電子成果品
報告書	秋田自動車道 横手地区付加車線道路詳細設計	契約締結の日の翌日より7日以内	電子成果品
図面	令和5年度 東北支社管内諸設備支障移転設計	契約締結の日の翌日より7日以内	電子データ
設計要領	高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領(H27.7)	契約締結の日の翌日より7日以内	電子データ
管内平面図	—	契約締結の日の翌日より7日以内	電子データ
施設管理用図面	—	契約締結の日の翌日より7日以内	電子データ
標識台帳	—	契約締結の日の翌日より7日以内	電子データ

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く。

#### 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
秋田自動車道 湯田 IC～山内 PA 間舗装詳細設計	令和 6 年 8 月 2 日～令和 8 年 1 月 23 日	開発虎ノ門コンサルタント(株)	東日本高速道路(株)	成果品の使用 設計資料の共有
秋田自動車道 山内 PA～横手 IC 間舗装詳細設計	未定	未定	東日本高速道路(株)	成果品の使用 設計資料の共有

#### 1-7 部分引渡し

契約書 38 条の「指定部分」及びその引渡し時期は下表のとおりとする。

指定部分	引渡し時期
詳細図作成 A (平面図、数量表) 詳細図作成 B (仮設標識一般図、標識一般図、構造計算書、数量計算書)	令和 8 年 7 月

#### 1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 に従って行う協議以外である。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

##### (1) 交通管理者

位置	道路	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
STA. 7+76～ STA. 65+70	秋田自動車道	岩手県警察本部	区画線協議等	令和 8 年 7 月
STA. 65+70～ STA. 116+86	秋田自動車道	秋田県警察本部	区画線協議等	令和 8 年 7 月

#### 1-9 計画工程表

##### 1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者で協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
標識基本設計	現地踏査	
	本線関係 平面図作成	
	本線関係 数量表作成	
附帯工設計	詳細図作成 A	
	詳細図作成 B	
標識基本設計	設計打合せ	

#### 1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1-1-0 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

- (1) 共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。
- (2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。
- (3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

#### 1-1-2 成果品に関する一般事項

成果品は、共通仕様書 1-4-6 の規定によるものとし、下記事項を追加する。

##### 1-1-2-1 CADを使用する場合の図面のファイル形式

図面の電子データを納品する場合は、図面のファイル形式により下記のとおりとする。

- (1) ファイル形式が DWG の場合は、調査等業務の電子納品要領のとおりとする。
- (2) ファイル形式が DWG 以外で、オリジナルファイルを DXF 形式で出力可能な場合は、オリジナルファイル及び DXF 形式のファイルを提出するものとする。この場合 DXF ファイルについては、図面管理項目を作成する必要はないが、ファイル名称はオリジナルファイルと同一とする。また、格納はオリジナルファイルと同じフォルダに行うものとする。
- (3) オリジナルファイルが DXF 形式に変換できない場合は、監督員と協議するものとする。

##### 1-1-2-2 紙の基図を使用し成果品を作成する業務の電子化手法等

市販地図又は平面図及び地形図等の発注者が貸与する図面を基図として図面作成を行う業務のうち、基図が電子データ以外の場合は、下記により電子化を行うものとする。

- (1) ラスタデータ (TIFF) と規定した図面  
白焼き等の成果品をスキャナにより電子化 (TIFF) したものをいう。
- (2) ベクタデータ (CAD) と規定した図面  
基図（市販地図等）又は地形図をラスタデータ (TIFF) とした後に CAD を使用して図面を作成するものとする。
- (3) 基図（市販地図等）、白焼き等の成果品又は貸与品からのスキャニング解像度 400dpi（モノ

- クロ)を標準とし、スキャニングの対象図面の状態に応じて適宜変更するものとする。
- (4) ファイル形式、ファイル名、レイヤ名及び図面管理項目等は、CADによる図面作成要領(案)の関連項目に準じるものとする。
- (5) 電子データは、「DRAWING」フォルダに格納するものとする。なお、設計延長等により図割して格納する必要がある場合は、監督員と協議のうえ分割格納するものとする。

#### 1-12-3 成果品に関する細部事項

本業務の成果品提出部数は、共通仕様書1-46-5に基づくものとし、報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

#### 1-13 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

#### 1-14 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、秋田自動車道 湯田 I C から横手 I C 間における 4 車線化工事の標識に関する基本設計業務である。なお、設計にあたっては、共通仕様書 5-5 「附帯工設計」、5-9 「標識設計」を適用する。

### 2-2 標識設計

#### 2-2-1 設計条件

本業務の設計条件は、次のとおりとする。

##### (1) 本線

- 1) 道路規格 : 第1種 第3級 B規格
- 2) 設計速度 :  $V=80\text{ km/h}$
- 3) 車線数 : 暫定2車線供用後の完成4車線
- 4) 計画交通量 : 5,000台/日

#### 2-2-2 本線関係

本業務における本線部の設計条件は次のとおりとする。

項目	単位	数量	備考
平面図作成	km	20.71	土工区間、橋梁区間およびトンネル区間 $L=20.71\text{km}$
数量表作成	km	20.71	

### 2-3 附帯工設計

#### 2-3-1 詳細図作成

本業務における詳細図作成の設計条件は次のとおりとする。

項目	単位	数量	備考
詳細図作成A	枚	44	応力計算 無 平面図(2)～(23) Ⅱ期線対面通行運用時平面図(Ⅰ期線対面通行運用時規制警戒標識+Ⅱ期線対面通行運用時規制警戒標識)22枚 Ⅰ・Ⅱ期線外々通行運用時平面図(Ⅱ期線対面通行運用時規制警戒標識+Ⅰ・Ⅱ期線外々通行運用時規制警戒標識)22枚
詳細図作成B	枚	7	応力計算 有 仮設標識一般図 規制警戒標識10基 図面2枚 標識一般図 単柱標識4基 図面1枚 複柱標識7基 壁面取付標識1基 図面4枚

設計区分は、下表のとおり詳細図作成の難易度区分を表す。



設計区分	項目	難易度
詳細図作成 A	設計協議説明用図面作成	複雑
詳細図作成 B	用排水工、のり面工、簡易舗装工詳細図	簡単

### 2-3-2 仮設標識配置平面図

仮設標識配置平面図は、発注者が別途指示する施工ステップごとに標識工事を実施するにあたり、供用中路線へ配慮した施工計画を検討し、仮設標識の配置平面図を作成するものである。

なお、施工計画検討の結果、監督員が別途図面作成等を指示した場合はこれに従うものとし、これに要する費用については別途協議するものとする。

### 2-3-3 仮設標識一般図

仮設標識一般図は、仮設標識配置平面図により計画された規制・警戒標識の置き式基礎構造の仮設標識一般図を作成するものである。

なお、施工計画検討の結果、監督員が別途図面作成等を指示した場合はこれに従うものとし、これに要する費用については別途協議するものとする。

### 2-3-4 標識一般図

標識一般図は、標識設計 本線関係平面図作成により設計された単柱標識・複柱標識・壁面取付標識で標識標準図集（令和6年7月）に示す標識のうち類似なもの準用して標識一般図を作成するものである。

なお、施工計画検討の結果、監督員が別途図面作成等を指示した場合はこれに従うものとし、これに要する費用については別途協議するものとする。

## 2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は部分引渡し検査、業務内容確認検査及び完了検査を含め、5 回とする。打合せの検閲数量は1 式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。また、当初打合せ時には合同現場踏査を実施するものとし、この費用については別途計上しないものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

なお、完了検査は WEB 方式により行うものとする。ただし、WEB 方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

## 2-5 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

完了検査は、WEB 方式にて行うため、交通費・宿泊費の費用は計上しないものとする。

なお、協議により完了検査が WEB 方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、現地状況等により変更または追加する可能性があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 関係機関との協議により、図面修正および図面作成を追加する場合がある。
- (2) 詳細図作成の数量を変更する場合がある。



様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 秋田自動車道 湯田 I C ～ 横手 I C 間標識設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

( 1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

( 1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

( 1. 契約保証取得の日の翌日) ( 3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路(株) 東北支社 横手工事事務所	
調 査 等 名		秋田自動車道 湯田 I C～横手 I C間標識設計	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。